

基本政策 2 生活環境			
目指す姿 3 安らげる生活基盤の創出			
幹事部局名	建設部	担当課名	建設政策課
評価者	建設部長	評価確定日	令和 7 年 7 月 31 日

	施策の方向性、指標名(単位)	年度	2019 (R元)	2020 (R2)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	直近の 達成率	配点	備考
①	【施策の方向性①】 通学路指定路線における歩道整備率(%)	目標			47.1	47.4	47.6	47.8	100.0%	4	
	実績	46.4	46.7	47.1	47.4	47.6					
	出典: 県調べ	達成率			100.0%	100.0%	100.0%				
②	【施策の方向性②】 生活排水処理場数(箇所)	目標			216	206	202	200	98.0%	3	
	実績	233	226	214	208	206					
	出典: 県調べ	達成率			100.9%	99.0%	98.0%				
③	【施策の方向性③】 県立都市公園の利用者数(千人)	目標			816	918	919	920	122.2%	4	
	実績	943	745	995	1,061	1,123					
	出典: 県調べ	達成率			121.9%	115.6%	122.2%				

定量的評価結果	計算式
3.67 (a 相当)	4 点 × 2 個 = 8 点 1 点 × 0 個 = 0 点
	3 点 × 1 個 = 3 点 0 点 × 0 個 = 0 点
	2 点 × 0 個 = 0 点
	合計 11 点 ÷ 3 個 (判明済み指標) = 3.67

【施策の方向性① 安全・安心を支える生活道路の整備】

- ・ 千葉県八街市で令和３年６月に発生した交通事故を契機として、県内小学校の通学路における危険箇所の合同点検（通学路における合同点検）を行い、安全性に対する課題が抽出された要対策箇所について、重点的に整備を推進した。

【施策の方向性② 良好な生活排水処理基盤の整備】

- ・ 生活排水処理施設について、令和６年度は２処理区（農業集落排水）が集約化された。
- ・ 県・市町村の維持管理費の削減のため、県南地区（４市２町）の汚泥を集約処理・資源化する広域汚泥資源化施設の令和７年４月からの運転を目指し、事業の進捗を図った。
- ・ 市町村の生活排水事業の運営を支援する(株)ONE・AQITAにおいて、９市町村の事務を受託し支援した。

【施策の方向性③ 安らぎと潤いのある空間づくり】

- ・ 都市公園内において、各種大会及びイベント等が多数開催されたことや北欧の杜公園の噴水広場など、新たな施設を整備したことにより利用者数が増加した。

3 総合評価と評価理由

総合評価	評価理由
a	成果指標の達成率を基にした定量的評価は3.67で「a相当」であることから、総合評価は「a」とする。
	【定性的評価として考慮した点】 ・

5 主な課題と今後の対応方針

施策の 方向性	課題	今後の対応方針
①	○ 令和3年度の通学路における合同点検で抽出された要対策箇所対策については、令和5年度末までにおおむね完了するよう国から通達されており、グリーンベルト、注意看板等による暫定対策率は100%となっているが、県管理道路における令和6年度末の対策率は59%となっている。	○ 令和6年度第1次補正予算及び令和7年度当初予算の配分により、県管理道路における未対策箇所への対応が可能となったため、警察等関係機関と連携しながら交通安全対策を確実に実施するとともに、引き続き、必要な予算を国に対し要望していく。
②	○ 県内において生産年齢人口の著しい減少が想定されることから、自治体・民間ともに、生活排水処理事業の運営における担い手不足が懸念される。	○ 担い手不足への対応として、県と市町村で構成される生活排水処理事業連絡会を活用し、W-PPPの導入や汚泥処理の広域化・共同化の可能性を検討の上、県全体の生産性向上（効率化）を図る。
③	○ 都市公園利用者は増加傾向にあるものの、利用者アンケートによると公園施設等の老朽化や情報発信の不足に関する苦言、要望が散見される。	○ 老朽化した公園施設の改修・更新等を進めるとともに、公園施設の環境改善や各種イベント開催等についても効果的に情報発信することにより、更なる公園利用者の増加に努める。

6 政策評価委員会の意見

自己評価「a」をもって妥当とする。
